

依知地域22ヶ所で放射線量調査

3月の福島原発事故以来、党議員団にも、放射線について不安の声が多く届いています。

6月議会では、釘丸議員が市独自に放射線量測定をするよう求め、現在、市が22か所での測定を行っています。2週間ごとですが、9月の2回目は、台風のため延びました。

空気中の放射線については、希望があれば、市所有のものと同じくガンマー線を測る、議員団所有の測定器を持って、市内の各所（時に他の自治体）の測定にも行っています。

9月24日は、依知地域の22か所を測定してきました。放射線量を測っているという、興味を示して会話が弾みます。

「あまり気にしない。売っているのは大丈夫でしょう」というお母さんもあります。

あるおじいちゃんが「孫が夏休みに厚木に遊びに来てくれなかった。放射線のせいだ。作っている野菜をいつも送っているが、今年は送らないでくれと言われた」と嘆いたとの話には驚きました。

ある農業関係者に言わせると、西日本の人から見ると、厚木も放射線汚染の地域なのだそうです。

幼児・児童をお持ちのお母さんが心配していることのひとつが、給食です。市では、7月に市の学校給食に使う食材（ホウレンソウ）について、検査機関に委託して、検査をしました。今後は、月2回程度の検査をする予定とのことです。

大変な困難を抱えている中で、今年を送らないでくれと言われたこと、

ともに、人間の手に負えない原発を抱えることの危険性を、国民全体の共有の事としていく運動の必要性を強く感じています。

今週の活動から



横須賀ヴェルニー公園での「原発ゼロへ！ 原子力空母はいらない！」集会に参加。釘丸議員（上）



依知地域で放射線量の調査を実施。公園の水呑み場下で測定中の栗山議員（下）

依知地域調査スポット

単位マイクロシーベルト

依知南公民館	0.09	中依知公園	0.09	上依知小学校通学路	0.10
西久保公園	0.08	依知小学校通学路	0.09	瑠璃光寺保育園	0.09
金田第一公園	0.08	関口老人憩の家	0.08	上依知老人憩の家	0.08
金田第一青少年広場	0.08	長坂南公園	0.10	下川入児童館	0.08
環境センター	0.07	依知保育園	0.08	下川入老人憩の家	0.10
ふれあいプラザ	0.08	山際老人憩の家	0.08	猿ヶ島自治会館	0.09
南小学校通学路	0.07	北小学校通学路	0.09		
中依知児童館	0.08	依知北公民館	0.07	平均値	0.0841

話題あれこれ

原発ゼロへ！ 原子力空母はいらない！

横須賀集会に4500人

9月25日、横須賀市ヴェルニー公園で「原発ゼロへ！ 原子力空母はいらない！ 米原子力空母ジョージ・ワシントン配備3年抗議集会」が行われ、首都圏や全国から4500人が集まりました。横須賀港がジョージ・ワシントンの母港になったのは2008年9月25日。1年のうち半年も東京湾に浮かんでいます。

原子力空母は、原発と基本的に同じ構造の原子炉を持っています。この原子炉には日本政府の監督権限は及ばず、安全基準も適用されません。危険な原発が首都圏にあることになります。

東日本大震災の福島原発事故から半年余りがたちましたが、未だ事故収束の見通しは立っていません。集会では、2歳の子を持つ母親が、涙ながらに放射線汚染への恐怖を語り、福島県からは「これまで東電に対して安全性を高めるよう要求してきたが、聞く耳持たず！」と怒りの訴え。

参加者全員がプラカードを掲げ「原発ゼロ」「原子力空母はいらない」を叫びました。その後、公園を出発し、米軍基地の前を通り横須賀中央駅までデモ行進しました。



プラカードを掲げて唱和する参加者

この集会には厚木から多くの参加者があり、釘丸久子議員も参加して、市民と交流しました。

厚木市でも、家庭・保育園の放射線量調査を行い、議会では福島原発への農業被害などへの補償を求める意見書を採択しています。

10月の法律相談は
次週お知らせします。